

豊前市立義務教育学校および中学校標準服の方向性

1. 本市の基本標準服について

- (1) 全てのアイテムにおいてジェンダーレスを配慮したものとする。
- (2) ブレザー、ボトム(スラックス、スカート)、シャツを市内統一の標準服とする。
- (3) リボン、ネクタイ、ベスト、カーディガンなどのアイテムを生徒自身が自分らしく自由に選択でき、重ね着なども可能で快適に着用することができるようにすることを検討する。
- (4) 式典時には統一した着こなしとすることも検討する。
- (5) キュロットの採用については個別対応も考慮しながら、検討を重ねていく。

2. デザイン等について

- (1) 要望や必要に応じて、各学校の識別化なども検討する。
- (2) 名札は防犯面とリユースに配慮したものとする。
- (3) シャツは季節を問わず長袖、半袖を選択できるものとする。なお、色の指定や素材(シャツやポロシャツ)については今後検討をおこなう。
- (4) ベスト、カーディガンなどの着用や指定については今後協議をおこなう。

3. 機能性について

- (1) 家庭用洗濯機で洗濯が可能で、型崩れしないものであること。
- (2) ノーアイロンなど、家庭での手入れがしやすいものであること。
- (3) 防汚、撥水、抗菌などの機能を備えていること。
- (4) 動きやすく、着心地がよいものであること。
- (5) 3年間の使用に耐えられるものであること。
- (6) 安心・安全な機能(反射材・透けない素材など)を備えていること。
- (7) 多様性に応じた個別対応が可能であること。
- (8) 近年の成長にあわせたデザインおよび調整が可能なものであること。

4. 経済面について

- (1) 市内でのリユースが促進される仕様であるもの。
- (2) 現行の保護者負担を考慮し、シャツ、ネクタイ、各校識別アイテムなどが指定となった場合は、各アイテムを含んだ額が現在の価格帯と同程度となること。

■参照・・・別紙:現行標準服における負担額の目安